

2013.7.5.

(1)

# おい図書館

## No.161

発行  
代表  
青木 和子  
松本市牧の原1-10-416  
TEL 047-311-0886

☆5月18日出☆

### 松戸市立図書館

#### 分館見学をしました

大石民子

五月晴れのさわやかな日、堂世田さんのご指導、塩崎さんのご案内で、7名が2台の車に分乗して市内の図書館分館見学に出かけた。19館あるうちの9館―五番に始まり、六実、松飛台、東部、二十世紀ヶ丘、矢切、馬橋、小金北、八ヶ崎。

前日に塩崎さんと青木さんが下見をしてくれたので、わかりにくい分館もスムーズに効率よく回れたことに感謝。

ほとんどが市民センターの中にあるので、建物はどこも古い。でも、書棚や表示等は、それぞれに工夫してあった。

書棚が全部高くて全体が見渡せない、迷路に入ったような所もあれば、下段を斜めにした書棚を使っている所(六実)や、器具を使って斜めになるようにしている所(松飛台、東部)、書棚の横に小さな表示しかない所もあれば、上部に大きく分類表示のある所(松飛台、東部)書棚の横だが表示の大きい所(二十世紀ヶ丘、馬橋、小金北、八ヶ崎)、また、書棚の上に手作り作品が飾ってあったり、独自の新刊紹介が貼ってあり、小金

北や八ヶ崎には平成25年度松戸市教育施策が貼ってあった(気がついたのが、それだけだったかもしれない)。

入口や外に面している窓が大きなガラス張りだと、外からでも図書館がよく分かるが(東部、小金北)、市民センターの一室なので扉を閉めると全く中が見えない所が多い。八ヶ崎は、図書館が別棟になってるのが良かった。

一番残念な所は矢切分館。場所も3階の一番奥で、暗いイメージ。書棚は全部高く、奥はカウンターからの目も届かない。大袈裟に言えば、中で犯罪があっても分からないだろうと思うくらい、居心地が悪かった。複合施設なので、他のセンター内では比較的良好な場所にあるが、図書館こそ万民のための施設ではないかと思う。全体的に見ると、どこも建物は古いし、図書館に与えられたスベ

ー入は狭い。蔵書にもいろいろ問題点はあると思うが、地域住民に近い場所に分館がこれだけあるのは良いと思つた。特に小金北は「こんな所にも在つたの！」と、市民センターの存在共々嬉しく思つた。私自身、図書館利用が上手ではないので、分館をどう変えていいたら良いのか、よく分からないうが、考えさせられる有意義な一日でした。



浅山早智子

私達7名のメンバーは、5月18日10時50分に八柱駅北口に集合し、9つの分館を訪問した。

まず五番分館へごぞいりだったが、非常に狭かった。机も無く、子供が一人居た。子供の本が多かつた。

六実分館へけっこう広かったが机が無く、低いテーブルが一つあ

つただけだった。子供は居なかつたが、子供の本が多かつた。松飛台分館へ場所がわかりづらい。駐車場は少なく、内部は狭かつた。

東部分館へ支所内にあり、駐車場も広く、内部も広め。子供のコーナーがあり、座る所も有つた。2階だがエレベーターが無い。窓からの景色は、緑が多くて良かった。

二十世紀ヶ丘へ入口が非常にわかりづらいし、車で行くのは無理。駐輪場も無かつた。子供の本が多く、入口の花がきれいであった。

矢切分館へ支所の中にいろいろな施設が入っているので外観は大まかいが、図書館は小さく狭かつた。高い書棚が並び、倉庫のようだった。

馬橋分館へ内部は狭く、子供の本も少ない。駐車場は広かつた。

小金北分館へ西日がすごい。ひさしなど取り付けた方が良いのではないかと。書棚が低いのは良い。ハレ崎分館へ並運の民家風の建物で、新しく良かつた。勉強熱心そうな男の人が2、3人、机に向かつていた。書棚が低くて真ん中に寄せられ、子供の本が多かつた。明かるい感じがして良かった。



塩崎俊一

総括

よくも悪くも、第11と15代の宮間市長時代の市政下に於ける図書館政策の形象が色濃く残っていると言わざるを得ない。

同市長は、市内広域での行政サービス拠点を、市民が15分位で行ける処に立地することを旨とし、そこに図書館分館を併設していったのである。

従って、図書館面積の狭さは止むを得ないことであり、駐車場を拡大する余地も無かったと察せられる。

昭和18年、松戸町立図書館として中部小学校内に設立された後、まもなく市政施行により松戸市立図書館となった。その後、旧市庁舎内、市民会館内と移転したが、故宮間市長は就任後間もなく、現在の図書館本館を新設し、各市役所支所・市民センターに図書館分館を併設した。

平成2年には全国図書館のオンライン化も達成し、平成11年には全館に利用者開放端末を設置した。

こうして振り返ると、昭和の当時としての図書館機能は何とか果していたかも知れないが、現在の視点で見ると、分館の使命として、書架のレイアウトや本の分類など疑問がなにもない。もっと根元的な図書館政策に行きつくのではない

か...と思いました。

### 〈個別〉

- 1. 付近の案内表示など、存在が分かりにくい。(五番、松飛台、二十世紀ヶ丘、小金北、ハケ崎)
- 2. 建物(支所)の中に入ってから分かりにくい。(六実、矢切)
- 3. バリアフリーの立場でみると、2階にあるのにエレベーターが無い。(東部) 五番、馬橋はこの度設置された。
- 4. 分館で新刊本が見つかるか？(全館、月刊の新刊本案内ファイルで対処) 利用者の満足度は？
- 5. 職員の対応は、極端に悪いイメージの人には当日出会わなかったが、明かるさ不足。

### 〈個人的な提言〉

- 1. 中央図書館新設候補地として東松ヶ駅前(前松戸市立病院建設候補地)を検討し、見込みなしならば、県立西部図書館の買収・改造に取り組むべきと考え。

2. 松戸駅バリアフリー事業に伴う駅改造計画プロジェクトを見てモ、JR店舗以外に図書館使用に足りる余地はまったくない。

3. 長期的観点ならば、老朽化と耐震で建て直しを迫られている勤労会館の土地で、所轄を超えて図書館文化センターにする工夫は出来ないか。(かなりの高層となるが)

### 〈余録〉

全くの蛇足だが、馬橋分館の2階から階段の降り口に「解出(ハト)」と書かれているのが新しいので、失笑した。年代物の史跡でもあるまいに。

松戸では、市民の活用する町会の集会所でも「草刈糶(カサ)」とあって、若くない人でも戸惑っている。



全体の印象を記します。  
島佳枝

○道路に図書館の案内板が少ない。  
主要な交差点の標識に表示して欲しい。

○市民センターの外に図書館の案内が無かったりして、分かり辛い。少し離れた所からも図書館と分かるマークがあると良い。

○支所・市民センター内でも図書館の入口が分かり辛い。鉄の扉が多いが、開放感があって分かり易いかラス扉にしてはどうか？

○駐車場が少ない分館が多い。

○六実分館は裏側の出入口からの利用者が多いようだが、自転車置き場が無く、路上に駐輪している。

○バリアフリーを徹底して欲しい。

○東部分館は、2階にも拘わらずエレベーター無し。

○建物の向きや軒の効果が、直射日光はあまり入らないように見えたりだが、本へのダメージが少ない。フラインドは有ったり無かったりだが、本へのダメージが少ない。いかりスなどが使えると良い。

○展示物等は工夫が凝らされているが、アンケイト・ボックスが高い位置に有り、子供が利用できないような所がある。

○書架は低めにして、見通しを良くして欲しい。特に矢切分館は、高くて圧迫感がある。

○児童コーナーを確保して欲しい。(おはなしコーナーなども大人(一般)と一緒にあって、分かり辛い。

○幼児書は、出版社別で統一されている(?)

○小金北分館は、シリーズ本を別置してある。

○全体的に古い本が多い。(1980年代のものも)

○言語、外国語の本が少ない。

○全体的に、狭い分館の半分ほどを占めているなど、子どもの本の割合が多い。それにしても土曜日の午後に訪れたにも拘わらず、子どもたちの利用が多い

ようには思えなかった。

調べ学習用の本(小学生の授業に即した本等。例えば、米、昆虫など)が少ない。

しかし、図書館員の方々の努力で、子供たちを図書館に引きつけていると感じられる所も有ったのは嬉しかった。



青木和子

現在の松戸市立図書館は、本館と19分館、病院等施設巡回移動図書館車で構成されています。それに、本館と隣り合わせの元市立中部幼稚園の建物を子ども読書推進センターとして活用し、おはなし会のためのボランティアの育成・支援、子ども読書活動の支援などを行っています。

私たちは、会の発足から3年後の1995年、常盤平、矢切、小金、新

松戸の各分館を見学しました。しかし、その後には会としての分館見学は行わないまま、今日に至っています。

会のメンバーは、それぞれ最寄りの分館を利用していきますが、会員同士の共通認識にはなっていない。それならば、今年度は分館の見学会を行おうと、先日の総会で話し合いました。

早速5月18日(土)に、19分館の中から、会員が日頃あまり足を運んだことのない9館を選んで、見学会を行いました。

各館の見学時間は10分程度でしたが、まさに「百聞は一見に如かず！」データだけで判断するのはではなく、自ら足を運んで、たとえ短い時間ではあっても、五感で感じとることの大切さを、今回も学ぶことができました。

八柱駅前に集合し、総勢2名が

塩崎さんと大石さんの運転する車に分乗して、11時に出発しました。

当日訪れた分館は次の通りです。(データは、H24年度版「松戸市・図書館要覧」より)

分館名	開館年	延床面積(㎡)	蔵書(冊)	貸出数(冊)
①五香	77	70	19	72
②六実	79	146	22	113
③松飛台	84	80	15	58
④東部	80	123	20	89
⑤三幸立	86	90	18	80
⑥矢切	76	102	18	52
⑦馬橋	76	66	18	83
⑧小金北	84	80	16	71
⑨八ヶ崎	91	93	18	58

今回訪れた館は、結果的には市の周縁部が多くなりました。公共交通の便があまり良くない場所にあるので、近辺の住民を対象として設置されたからでしょう。

うか。図書館が併設されている支所・市民センター本体への案内表示が不十分でした。

②④⑦は支所に併設されているので、駐車場は大きくとってありました。また、その他は駐車場が非常に少ない。五香や松飛台、特に二十世紀ヶ丘は、市民センターが見えてくるのに車ではなかなか辿り着けないという大変な状況で、駐車場は無いに等しい。職員も努力だけではどうしようもない状況にあるとも感じました。

他所の分館の職員同士の交流は有るのでしようか。自分の所しか分からないので他館のことを知りたいたい、という言葉が心に残っています。

それぞれ館にはそれぞれの特徴がありました。それは建物自体の所為なのか、職員の持ち味によるものか、興味深く思いました。特に私の印象に残ったのは、松

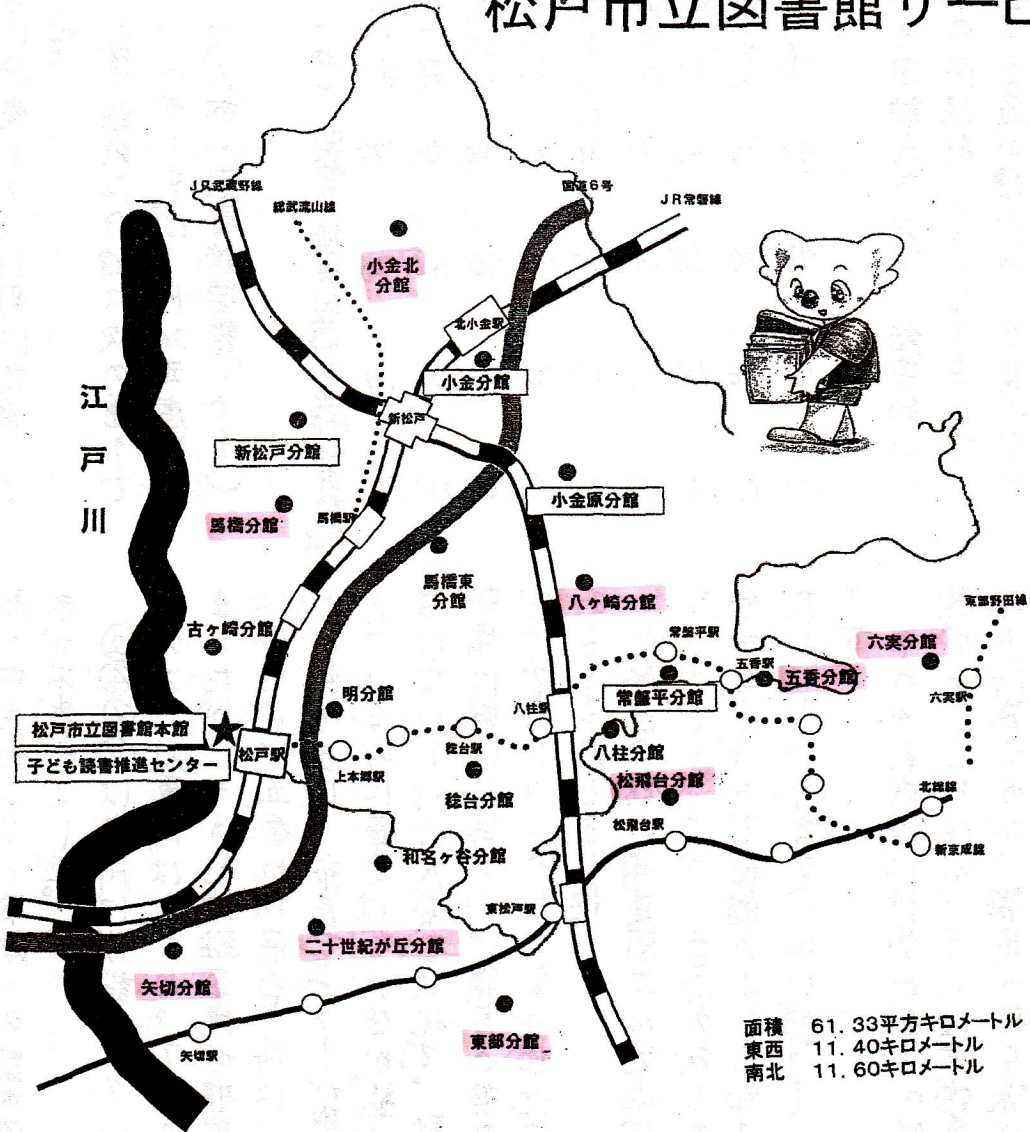
飛台と小金北の外に面したかうス窓に、大きく「図書館」と表示してあったことです。「皆さん、どうぞ図書館へいらして下さい！」という気持ちが伝わって、とても心があたたかくなりました。

馬橋の入口扉には「図書館の自由宣言」が有り、小金北とハケ崎には「松江市教育施策」のポスターが貼ってありました。(他館で見逃した表示があったかもしれない)

見学ポイントをしつかり見ることの大切さ、難しさを学んだ見学会でした。今回廻りなかつた館も是非訪れたいと、楽しみにしております。

市内の図書館サービス網は下図の通りです。今回見学した館はで表示しました。

## 松戸市立図書館サービス網



面積 61.33平方キロメートル  
東西 11.40キロメートル  
南北 11.60キロメートル